

五泉市立山王中学校 学校だより

# 山王の丘

平成29年2月10日  
第19号  
校長 熊倉 正樹  
電話 0250-58-7019



【教育目標】 向上を求め、自ら学び、錬磨し合う生徒

## 生徒総会・新役員引継ぎ



1月27日（金）の5，6限に第2回生徒総会を行いました。校歌斉唱、生徒会長のあいさつの後、  
さんが、  
さんが議長を務め、第1号議案から第4号議案までを審議しました。各学年から多くの質問が出され、生徒会総務、各委員長や部長が丁寧に回答・説明を行いました。

今年度は、生徒会スローガン「山王魂」を掲げ、これまで以上により良い山王中学校を築き、閉校に向けて有終の美を飾ろうと取り組んできました。振り返って見ると、全校生徒が協調性や積極性を高めると同時に、異学年交流を図ることでお互いの絆を深めることができるように、企画運営をしてくれました。それらの活動に対して全校生徒は前向きに参加し、全校生徒の繋がりが強化できたことを評価しています。

生徒総会に引き続き、役員引継ぎ式を行いました。最初に新総務委員、新委員長に委嘱状が手渡され、代表生徒が平成29年度に向けての決意を述べました。その後、体育館のフロアに28年度の生徒会長以下、総務委員、各委員長と29年度の新生徒会長以下、新総務委員、新委員長が向かい合って並び、これまでの活動が記されたファイルが手渡されました。これで、平成28年度の生徒会の仕事はほぼ終了しました。一年間お疲れ様でした。

## 【募金活動】

1月16日から31日まで、平成28年度糸魚川大火義援金の募金活動を行いました。JRC委員会が糸魚川大火に際して被災した児童生徒へのお見舞い金となる募金活動を校内で行いました。総額21,329円の募金が集まり、翌日の2月1日にJRC委員会が第四銀行の災害見舞金の口座に振り込みました。



JRC委員会は昨年4月にも生徒会総務の生徒と一緒に熊本地震に対する支援の募金活動を校外で行っています。そのため、募金活動への対応は戸惑うことなくスムーズに行われました。その時の経験がしっかりと生かされていました。

## 【Web診断問題 2月結果】

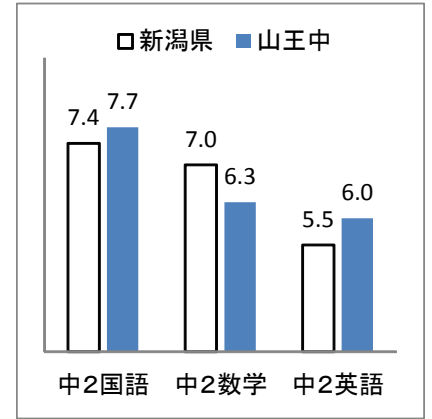
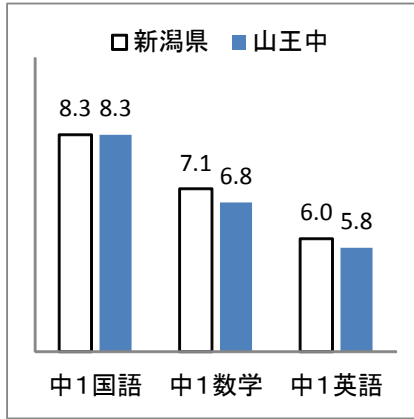
2月のWeb診断問題の結果が出ました。今月からは3年生は出題されません。入試に向けて、各々で取り組むこととなります。

国語はこれまで県平均にわずかに足りない状況が続いていましたが、前回から県平均を上回るようになり、今回も県平均と同じか上回っています。学習の成果が出ています。

数学は今回の診断問題に向けての取り組みが甘かったという反省が教科担当からありました。定期テストの前日ということで、少し定期テストの内容に重点を置いたため、過去問題の復習ができなかったようです。

英語も二学期の既習内容と現在学習している内容が出題され、定期テスト前ということもあり、対策が少し足りなかったようです。やはり日々の授業で繰り返し学習するように務めます。

なお、3年生は2月10日現在で、5人の進学先が決定しています。志望校合格おめでとうございます。しかし、大半の生徒はこれからが入試の本番を迎えます。三学期になり、教室での雰囲気も「本物の受験生」になってきました。健康三原則に従い、体調を維持しベストな状態で卒業や入試を迎えられるように、配慮して指導していきます。御家庭でもよろしく願います。



## 【給食残量調査】

昨年の11月に給食残量調査を市内の小中学校で行いました。山王中学校は5日間の調査の中で1つだけ残量0（ゼロ）のものがありませんでした。それは鶏肉のからあげでした。からあげは山王中学校の生徒に大人気の様です。ぜひ、他の献立についても丈夫な体を作るために、しっかりと残さずに配膳された給食を食べるように心掛けましょう。

## 【就学援助制度】

2月25日号の市広報にも詳しく掲載される予定ですが、就学援助制度についてお知らせします。  
<小・中学生就学援助制度>

経済的に困りの御家庭に学用品費等の一部や給食費などを援助する制度です。平成29年度の就学援助を希望される場合は、2月15日に学校から配付される就学援助費受給申請書を学校または学校教育課へ提出してください。

就学援助を受けるには、生活保護を受けていないが経済的な理由のため教育費の支払いが困難で、世帯の所得が基準以下という要件があります。配付されるお知らせをよくお読みいただき、希望される場合は4月10日（月）の申請期限までに提出してください。

なお、この制度は毎年申請する必要がありますのでご注意ください。

## 【少し残念なお知らせ】



平成25年度から毎年参加していた虚空蔵尊の祭礼ですが、今年は日曜日であることやインフルエンザが流行している最中であることなどの理由から、生徒の健康を考慮しボランティアの生徒による雪灯籠の制作は行わないことにしました。これまでは毎年、東側の校門からの坂道に沿って40～50個ほどの雪灯籠を作り、ろうそくを灯して地域の行事に参加していました。とても残念ですが、今年はこの写真で当日の様子をイメージしてください。